

## 切除不能消化器癌に合併する脳梗塞の後方視的検討

市立福知山市民病院 消化器内科では、切除不能消化器癌に合併する脳梗塞についての後ろ向き研究を実施いたします。そのため、当院で上記として診断、治療を受けた患者様の診療録を過去にさかのぼって調査させていただきたいと考えています。実施にあたり市立福知山市民病院倫理委員会の承認を受けています。

### ・研究の目的

進行がんの患者様は脳梗塞の発症リスクが高いとされ、がん患者に脳梗塞が合併した病態はトルソー症候群とも呼ばれており、特に胃癌と膵癌でその頻度が高いことが報告されています。がん治療中に脳梗塞が発症すると、日常生活に影響が出るのみならず、抗がん剤などがん治療の中断を余儀なくされることもあり、予後を悪化させる可能性があります。本研究では切除不能消化器癌の患者様に合併する脳梗塞の実態を調査することで、予防法や管理法の確立に役立てることを目的とします。

### ・研究の方法

対象となる方について

2009 年 1 月 1 日から 2021 年 12 月 31 日までの期間に市立福知山市民病院消化器内科にて切除不能消化器癌と診断され治療を受けた患者様が対象となります。

研究期間：市立福知山市民病院倫理委員会承認後～2024 年 3 月 31 日までの期間

方法

切除不能消化器癌と診断された患者様のカルテ情報を調べ、脳梗塞合併の有無を確認します。患者様のこれまでの背景疾患や治療経過、脳梗塞と診断されてからの治療内容や再発の有無などを検討します。

研究に用いる試料・情報について

情報：年齢、性別、PS、既往歴、嗜好歴、常用薬、原発巣、転移部位、組織型、治療内容（癌に対する治療および脳梗塞に対する治療）、血液検査所見（血算、生化学、凝固、腫瘍マーカー）、画像所見

### ・個人情報の取り扱いについて

患者さんの画像検査結果、カルテ情報をこの研究に使用する際は、氏名、生年月日などの患

者さんを直ちに特定できる情報は削除し、研究用の番号を付けて取り扱います。患者さんと研究用の番号を結びつける対応表のファイルにはパスワードを設定し、インターネットに接続できないパソコンに保存します。このパソコンが設置されている部屋は、入室が管理されており、第三者が立ち入ることができません。また、この研究の成果を発表したり、それを元に特許等の申請をしたりする場合にも、患者さんが特定できる情報を使用することはありません。

なお、この研究で得られた情報は研究責任者(市立福知山市民病院 消化器内科 医師 岡浩平)の責任の下、厳重な管理を行い、患者さんの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

#### ・研究組織

市立福知山市民病院 消化器内科 医師 岡 浩平

#### ・お問い合わせ先

患者さんのご希望があれば参加して下さった方々の個人情報の保護や、研究の独創性の確保に支障が生じない範囲内で、研究計画及び実施方法についての資料を入手又は閲覧することができますので、希望される場合はお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2023年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。ただし、同意を取り消した時点で既に研究結果が学会や論文などで公表されている場合など、廃棄することができない場合があります。

#### 連絡先

市立福知山市民病院 消化器内科

職・氏名 医師・岡 浩平

電話:平日 9:00-17:00 0773-22-2101